

はつらつ部会の新旧役員会を開催しました

5月12日、はつらつ部会は八王子会館において新旧引継ぎ役員会を開催しました。はつらつ部会は、区長会・民生委員・老人クラブ・女性会・PTA・その他団体の代表者が中心となり、地域住民のみなさまが明るく元気に過ごせるよう、地域の見守りなどの福祉活動や町役員のスキルアップをめざした研修会などを行っています。

令和3年度は、主な行事として三世代ふれあい事業のグラウンドゴルフ大会をコスモスまつり当日に実施しました。宇仁小学校のグラウンドで各町より世代を超えて参加した10組のチームにより実施しました。

しかし、各町関係役員を対象としたあったかシステムの推進に関する研修会や、2月に計画していたあったか友愛推進大会は、まだまだ終わりを見せないコロナ禍のため残念ながら中止となり、計画していた活動を行うことができませんでした。

新旧引継ぎ役員会では事務局より令和4年度の新役員と事業計画が提案され、原案通り承認されました。令和4年度こそは、コロナに打ち勝って十分な活動が行えることを期待しています。

新役員と事業計画は以下の通りです。

部会長 繁田洋毅

副部長 長谷川正行 松岡生一 長濱 隆 岡田利子 志方千鶴 繁田昌宏

庶務・会計 森裕治郎

事業計画

1. 三世代ふれあい事業 ----- グラウンドゴルフ大会の開催
2. あったか友愛推進大会 ----- 市開催の講演会への参加
3. 地区研修会の開催 ----- あったか声かけ作戦実践発表と外部講師による講演会等への参加
4. あったかシステムの推進 ----- 地域住民の見守り、声かけ、心配ごと相談等
5. 福祉に関わる研修事業 ----- 福祉施設訪問、警察・消防署等による講演会開催

あったか見守り声かけ



(宇仁校区はつらつ部会)

スポーツクラブ21 宇仁からの報告

この度スポーツクラブ21宇仁の部会長に就任しました大久保進です。平素はスポーツクラブ21宇仁にご理解とご協力をいただき誠に有難うございます。

私がこのクラブで平成18年に事務局長として活動を始めてから早や16年になります。当時は250人近い会員数で、種目もヨガ・健康体操・ウォーキング・ゴルフ・グラウンドゴルフ・ゲートボール・ファミリーバドミントン・ソフトバレー・テニスと9種目あり、大勢の方が自分のやりたい種目で楽しく体を動かされていました。また、スポーツクラブ21主催のウォーキングツアーやグラウンドゴルフ大会、日吉地区との交流パークゴルフ大会等にも沢山の方に参加いただきました。ウォーキングツアーでは県内外のいろんな所を訪問し散策しました。

しかし年々会員数も減って今では70人程度になっており、種目の休部や廃部もありました。そういった中で新しい種目、宇仁山遊会・フットサル・ふるさと太鼓などが立ち上がり活動しています。

この数年、新型コロナ禍の影響で各行事の縮小や中止を余儀なくされ、思うような活動が出来ていません。このコロナ禍が落ち着くまでは感染対策をしっかりして活動をしていきたいと思えます。

コロナ禍が収束し、マスクを外して皆様と笑顔で語り合いが出来る時が来れば、宇仁校区の皆さんとウォーキングツアー・グラウンドゴルフ大会等で楽しみたいと思えます。その時には、是非とも参加のほど宜しくお願いします。

(スポーツクラブ21宇仁部会)



空き家対策学習会のお知らせ

空き家の家財道具の片づけや、改修・売却のこと、相続や名義変更など、お悩みのことはありませんか。加西市きてみて住んで課や空き家対策の専門家協議会「えーがい加西」の皆さんを講師に学習会をします。

日時 令和4年7月3日(日) 午後3時~4時(学習会) 個別の相談がある方は学習会終了後でも可

場所 八王子会館2階会議室

(定住促進部会)

宇仁小学校の思い出 ⑮～心のよりどころ～

私に「教師のやりがい」を教えてくれた、私に「喜びと感動」を教えてくれた学校が宇仁小学校です。

教諭として9年、教頭として3年お世話になった宇仁小学校ですが、鮮明に今もはっきりと覚えていることがあります。その日私は、いつもより遅れて出勤し、ちょうど子どもたちの登校と重なりました。校門から校舎へと続く登り坂。車を運転して通り過ぎる私に、全員が立ち止まり会釈をしたのです。向かい合っただけのことなら考えられもしますが、横を通り過ぎていく私にです。それだけではありません。身動き一つせずに話を聞く姿、ひたすら掃除に没頭する姿、低学年の子に丁寧に教える高学年の姿…。当たり前のことのようにやっているその子どもたちの姿こそが宇仁小学校の伝統でした。

しかし、一方で勿体ないと思ったこともありました。これだけのことができる子どもたちなのに案外、自分に自信がないということでした。そこで、あらゆる機会を捉えて子どもたちを伸ばす取組が始まりました。合い言葉は「一人一人が主人公」特に、高学年では、全ての行事において、やりたいと思う児童が中心となって実行する形が作られました。こうしてどの子にもチャンスが与えられることになり、私たちが願った「一人一人の個性が輝く学校」に変貌していくことになりました。

宇仁を去って、6年後、私は教頭として宇仁に戻ってきました。笑顔いっぱいの心に響く挨拶。「一人一人が主人公」の学校がそこにありました。新校舎に移転しても、宇仁の伝統は変わらず、子どもたちの毎日の生活の中に引き継がれていました。

私を教師として育ててくれた宇仁小学校は今も「心のよりどころ」です。支えていただいた宇仁郷のみなさんに不意に出くわすことがあります。その時、私は懐かしい温もりを感じます。これが「宇仁なんだな」と思わず笑みがこぼれます。温もりに包まれた宇仁郷がこれから、そうあり続けていくことを心から願っています。

(H25.4.1～H27.3.31教頭 現泉小学校校長 山本正則)



宇仁郷のあゆみ 第二章 宇仁郷まちづくり協議会の群像達④

新校舎建設遅延の対応に苦慮 (3)

平成15年3月9日開催の宇仁小学校新築期成同盟報告会の議事録より関係者の学校建設に対する熱い思いを紹介しています。

・友藤雄彦・市議会議員

「平成8年子どもが非常に少ないという話から宇仁小学校不要論が浮上、地元3議員は立場は異なるが学校問題は一致して頑張って、農振地で建物が規制され新宅も建てられないという状況下、この問題を解決しました。この遅れは行政の怠慢です。

移転候補地も2転3転して今の場所になった。農振地も平成13年に解除されたのでまずはグラウンド造成の予算獲得に努力したい。」

・井上芳弘・市議会議員

「3人の議員は会派こそ異なるが、この件については同一の歩調で取り組み、宇仁小学校建設は最優先事項として頑張って来た。当初は学校東の山を候補地としたが25億円の予算と規制緩和の問題があり、断念し現在進めている用地となった。

その後、緊急対策として阪神大震災による現校舎の耐震対策が進められたが、老朽校舎をどうするかは運動は停滞させず議会活動をさらに強めていきたい。

基本の問題は少子化にある。規制緩和と住宅建設の促進を進め、宇仁地区は過疎地ではないという証を作っていく必要がある。」

・丸岡肇・宇仁地区区長会長

「多加野はひとつ。多加野地区区長会において宇仁小の早期建設の意識合わせを行い、議員団と歩調を合わせて市当局と議会に強く要望をしていきたい。」

・志方正勝・期成同盟副会長

「議員が中心になって促進策を進めていただきたい。皆さんに国正町の志方勝次さんの記録“大正13年の宇仁校合併問題をめぐる紛争”を配布しますので、これからの学校建設の参考にしてください。」

一次号につづくー



取り壊し前の旧校舎内